

トリナ・ソーラー i-TOPCon 型太陽電池セルで変換効率 24.58%の世界新記録

太陽光発電およびスマートエネルギーのトータルソリューションを提供する世界有数の企業 Trina Solar Limited (以下「トリナ・ソーラー」または同社)は、2019年5月28日(火)、中国の太陽光発電技術国家重点研究室(“PVST” PV Science and Technology)の自社敷地内にある国家重点研究室(“SKL” State Key Laboratory)が、高効率のN単結晶シリコン(c-Si)i-TOPCon(量産型 Tunnel Oxide Passivated Contact)太陽電池セルで、24.58%という世界記録を樹立したことを発表しました。

世界記録を達成した両面発電型セルは、244.62cm²の大型サイズのウェハに、表面にボロンエミッタと裏面にパッシベーション膜を用いた高度なi-TOPCon(量産型 Tunnel Oxide Passivated Contact)技術を用いて、低コストな量産プロセスで製造されました。

両面発電型セルは、表側の変換効率が24.58%を達成しました。この結果は、ドイツの独立認定機関ISFH CalTeCによって確認されています。

「PVST SKLの研究チームによる最新の成果を発表できることを非常に嬉しく思います。これは、私の知る限り、大面積の両面コンタクトシリコン太陽電池の総面積変換効率の世界新記録です。この優れた研究開発の成果は、当社が新しい差別化されたハイエンドなPVモジュールとそのソリューションをお客様に提供するための確固たる基盤を築くものです。」と、会長兼CEO(最高経営責任者)の高紀凡(Jifan Gao)はコメントしました。

■ Trina Solar Limited (トリナ・ソーラー) について

1997年に設立されたトリナ・ソーラーは、太陽光発電製品の研究開発、製造、販売、および、太陽光発電所の開発、運営、保守、スマートマイクログリッドとマルチエネルギー補完システムの開発と販売、および、エネルギークラウドプラットフォームの運用という太陽光発電およびスマートエネルギーのトータルソリューションを提供するグローバル企業です。

2018年、トリナ・ソーラーは、エネルギーのIoT(モノのエネルギーインターネット)ブランドを立ち上げ、世界のトップ企業や研究機関と共同で、トリナエネルギーIoT産業開発同盟と新エネルギーIoT産業イノベーションセンターを立ち上げました。当社は、スマートエネルギーのグローバルリーダーになるべく全力を注いでいます。

詳細については、<http://www.trinasolar.com/jp>をご覧ください。

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社 プレス担当: 春日(マーケティング)

TEL.03-3437-7000 (受付時間: 月~金 ※祝日を除く 9:00~18:00)